

医学部医学科一般選抜『小論文』

1. 出題のねらい

この問題は、チンパンジーの闘病生活を題材として、そこからわれわれ人間の苦しみとはどのようなものであるかを考えさせるものである。出題のねらいは、次の2点である。

1つ目は、チンパンジーの闘病生活に関する具体的な記述から、チンパンジーにとっての世界のあり方を想像し、人間のそれと比較しうる論点を抽出できるかという点である。

2つ目は、その論点にもとづきなら、重い病気を患った人の苦しみを思いやり、そこから『人間特有の苦しみ』がなぜ生じるのかをうまく説明できるかという点である。

これら2つの力は、臨床の場で様々な苦しみを抱えた人たちと向き合う医師としての適性に深く関わっている。

2. アドミッション・ポリシーとの対応

[対応するアドミッション・ポリシー]

1. 十分な基礎学力を持ち、自ら問題を発見し解決しようとする意欲のある人。

→チンパンジーの話から人間の苦しみの特徴やその根源を考えることができる。

2. 基本的な倫理観と思いやりの心を持ち、利他的に考えることができる人

→人の苦しみのあり方について深く考察する力を持つ。